

IT推進アドバイザー制度を使って ITコーディネータを活用しよう

情報化時代の経営革新アドバイザーとして、中小企業を支援するITコーディネータ。ここでは実際にコンサルティング契約を結ぶための入口と、コンサルティングの過程を具体的に紹介しよう。



経営者の立場に立ち中立性を持って経営改革を支援するITコーディネータ（ITC）は、経営戦略立案からIT活用ノウハウまで様々なシーンで中小企業の経営をサポートする。経営上の悩みやIT活用に関する疑問、IT投資の相談などがあつたらうまく活用して自社の経営に役立てたい。

ITコーディネータへの相談依頼は、ITコーディネータ協会のホームページから自分で適任者を探してコンタクトを取ることもできるが、初めての場合は誰が適切なかわかりにくいことが多いだろう。

そこで活用したい制度の一つが中小企業総合事業団の「IT推進アドバイザー派遣事業」である。この制度を利用すると、派遣費用の3分の2が補助され、アドバイザー一人あたり1日1万5000円の費用負担でコンサルティングが受けられる。本事業への申し込みはITコーディネータ協会でも受け付けており、相談内容に応じてふさわしいITCを紹介してもらえる。

では、IT推進アドバイザー派遣を受けた場合、コンサルティングは

どう進められていくのだろうか。10回の派遣を受け、その後は民間レベルでコンサルティング契約を継続している有限会社プリンスの事例を元にその内容を紹介しよう。

◆ ◆ ◆
神奈川県横浜市、歌謡曲「伊勢佐木町ブルース」で知られる伊勢佐木町商店街に店舗を構えるプリンスは、県内に4店舗を持つ高級紳士服洋品店である。イタリア製を中心にした上質な品揃えが特徴で、購買力のあ

る比較的高い年齢層が主要顧客だ。バブル時には店舗を15まで拡大した同社も、バブル崩壊による経済の冷え込みや紳士服の低価格化により、同程度の売上を維持するのは困難な状況になった。吉田親弘社長は店舗数を絞るなどのリストラをし尽くして安定利益を確保したが、最近になって一つのことが気にかかりだした。

それは、「世の中はIT、ITと言うが、いったい何なのか、会社のIT



有限会社プリンス
吉田親弘代表取締役

した服を一式欲しいという問合せが北海道からきたり、常連顧客がホームページのURLを口コミの資料として使い新規顧客を紹介してくれたりと、早くも効果が見えている。

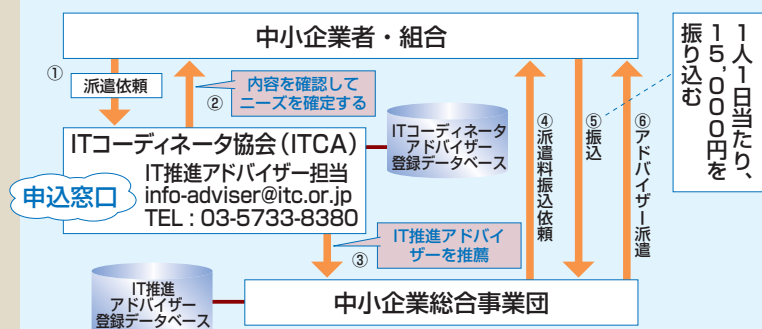
吉田社長はこの経験を通じて「IT

というものが少しずつわかってきた」という。今後もITCのアドバイスを受けながら、さらに経営革新を進めて行きたいとのことだ。

◆ ◆ ◆
このように、経営者のITに対し

IT推進アドバイザー派遣

ITコーディネータ協会でも申し込み受付を担当



ITコーディネータとは？

経済産業省の推進資格ITコーディネータ（ITC）は経営とITの両方に精通し、中小企業のIT化を支援する専門家。特定のベンダーの立場ではなく中立性を持っていることが特徴だ。2004年4月現在で5000名ほどが全国で活躍している。

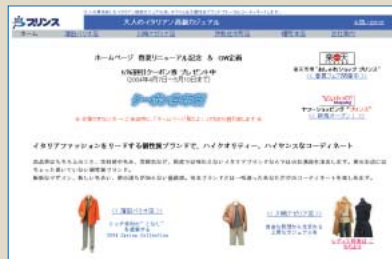
ITコーディネータに関するお問い合わせ先
特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会（ITCA）
住所：東京都港区芝公園1-8-21
芝公園リッジビル7F
電話：03-5733-8380 担当：森、前田

詳細はITコーディネータ協会のホームページ「経営者のためのITコーディネータ活用術」をご覧ください



URL: <http://www.itc.or.jp/>

吉田社長
の直接的な
悩みはホー
ムページの
改善だった
ことを受け、
具体的な行
動はホーム
ページのリ



▶リニューアルしたプリンスのホームページ。店舗ごとにお薦めのコーディネート例を紹介

ITコーディネータ紹介



大西和志氏
連絡先:ジェイドレス
<http://www.j-dress.com>



小野敏夫氏
連絡先メールアドレス:
itcono@au2.mopera.ne.jp

当初の10回におよぶアドバイザー派遣の後、吉田社長から継続契約を依頼され、現在に至る。経営分析の中で、洋服のサイズ直しの技能が高いという強みを発見し、これを顧客来店店のきっかけに使うことを提案するなど、新しい視点でのアドバイスも行っている。